

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 サカタインクス株式会社
コード番号 4633 URL <http://www.inx.co.jp>

上場取引所 東 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高丸 博次

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 宮田 明夫

TEL 06-6447-5822

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	92,217	2.1	4,496	35.3	5,368	30.4	3,111	39.9
24年3月期第3四半期	90,340	2.0	3,324	△18.1	4,118	△19.6	2,224	△26.4

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 3,460百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △633百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	51.43	—
24年3月期第3四半期	36.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	94,373	39,816	41.3
24年3月期	90,994	37,404	40.3

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 38,958百万円 24年3月期 36,654百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
25年3月期	—	7.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	121,500	1.6	5,500	29.1	6,400	29.2	3,500	17.4	57.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 有
- ④ 修正再表示 ： 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	62,601,161 株	24年3月期	62,601,161 株
25年3月期3Q	2,089,263 株	24年3月期	2,085,645 株
25年3月期3Q	60,513,374 株	24年3月期3Q	60,516,639 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	4
（3）連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
（3）継続企業の前提に関する注記	9
（4）セグメント情報等	9
（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、欧州債務問題の長期化の影響などにより、アジアにおいても減速傾向が続くなど、全体として弱い回復に留まりました。日本経済は、復興需要などに支えられ、一部に景気回復の兆しがみられたものの、海外経済の減速および高水準の円高などにより、景気の下振れやデフレの影響が懸念されるなど厳しい状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループはコア事業である印刷インキ事業において、アジアを中心とした各拠点での拡販に注力するとともに、環境に配慮した高機能・高品質製品や地域密着型製品の開発、TPM活動の水平展開による低コスト化に取り組みました。また、企業努力で吸収できる限界を超える主要原材料価格の上昇については、販売価格の改定にも取り組みました。一方、機能性材料では、インクジェットインキをはじめとして、トナー、カラーフィルター用顔料分散液などの開発・拡販に取り組みました。

売上高は、円高による為替換算の影響を受けましたが、印刷インキ事業において、アジアを中心に印刷インキの拡販が進んだことに加え、前年度より取り組んでいる販売価格の改定が寄与したことから、922億1千7百万円（前年同期比2.1%増加）となりました。

利益面では、販売数量の増加および販売価格の改定により、営業利益は44億9千6百万円（前年同期比35.3%増加）、経常利益は53億6千8百万円（前年同期比30.4%増加）、四半期純利益は31億1千1百万円（前年同期比39.9%増加）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

（単位：百万円）

	売上高					営業利益又は営業損失（△）		
	前期	当期	増減額	増減率	(※)実質	前期	当期	増減額
印刷インキ・機材（日本）	44,728	44,727	△1	△0.0%	△0.0%	2,379	3,024	645
印刷インキ（アジア）	11,601	13,803	2,201	19.0%	24.9%	334	624	289
印刷インキ（北米）	19,898	20,826	927	4.7%	6.0%	△296	320	617
印刷インキ（欧州）	4,515	4,354	△160	△3.6%	3.3%	205	63	△142
機能性材料	4,851	4,320	△530	△10.9%	△8.5%	232	73	△158
その他	9,656	9,154	△502	△5.2%	△5.2%	369	238	△130
調整額	△4,912	△4,970	△57	—	—	100	151	51
合計	90,340	92,217	1,877	2.1%	3.6%	3,324	4,496	1,172

(※)実質増減率：海外連結子会社の為替換算の影響を除いた増減率

①印刷インキ・機材（日本）

印刷情報関連では、一昨年（2013年）の震災後の広告減少に伴う需要減少の反動に加え、拡大の伸展もあり、新聞インキ、オフセットインキともに前年同期を上回りました。パッケージ関連では、一昨年（2013年）の震災後の需要増加の反動があったものの、飲料、食品関係の堅調な需要に支えられ、フレキシソインキ、グラビアインキともに前年同期を上回りました。機材につきましては、印刷製版用材料が国内印刷市場の低迷により低調に推移しました。これらの結果、売上高は447億2千7百万円（前年同期比0.0%減少）となりました。

利益面では、徹底したコスト削減に加え、販売価格の改定が寄与したことから、営業利益は30億2千4百万円（前年同期比27.1%増加）となりました。

②印刷インキ（アジア）

主力であるパッケージ関連のグラビアインキは、積極的に拡大を推し進め、インドネシア、インド、ベトナムなどで好調に推移しました。売上高は、円高による為替換算の影響を受けたものの、販売数量の増加に加え、第1四半期よりフィリピンの子会社（CDI SAKATA INX CORP.）を連結の範囲に含めたことにより、138億3百万円（前年同期比19.0%増加）となりました。

利益面では、販売数量の増加に加え、前年度に実施した販売価格の改定が寄与したことから、営業利益は6億2千4百万円（前年同期比86.7%増加）となりました。

③印刷インキ（北米）

オフセットインキは、メディアの多様化や景気低迷による需要減の影響を受けて、低調に推移しました。主力のパッケージ関連では、北米や中南米などでのパッケージ需要の高まりを背景として、フレキシソインキ、グラビアインキが好調に推移し、メタルインキも堅調に推移しました。売上高は、円高による為替換算の影響を受けたものの、販売価格の改定が寄与したことから、208億2千6百万円（前年同期比4.7%増加）となりました。

利益面では、生産効率化による徹底したコスト削減などにより、3億2千万円の営業利益（前年同期は2億9千6百万円の営業損失）となりました。

④印刷インキ（欧州）

欧州債務問題の深刻化に伴い景気が悪化する中で、主力であるパッケージ関連のグラビアインキは拡大が進みましたが、全体としては伸び悩みました。売上高は、円高による為替換算の影響を受けた結果、43億5千4百万円（前年同期比3.6%減少）となりました。

利益面では、原材料高などによるコスト増加が響き、営業利益は6千3百万円（前年同期比69.3%減少）となりました。

⑤機能性材料

デジタル印刷分野では、トナーは需要の低迷により低調でありました。インクジェットインキは、競争の激化に伴って欧米での販売が振るわず低調でありました。画像表示材料分野では、市場環境が厳しい中、カラーフィルター用顔料分散液が低調でありました。これらの結果、売上高は43億2千万円（前年同期比10.9%減少）となりました。

利益面では、第3四半期に売上が回復してきたことなどから営業黒字化したものの、累計ベースでは売上高の減少に加え、減価償却費などのコスト増加が響き、営業利益は7千3百万円（前年同期比68.3%減少）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、滋賀工場用地の取得、売上債権やたな卸資産の増加などにより、前連結会計年度末比33億7千8百万円（3.7%）増加の943億7千3百万円となりました。

負債は、未払金や前受金が減少したものの、借入金増加などにより、前連結会計年度末比9億6千5百万円（1.8%）増加の545億5千6百万円となりました。

純資産は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末比24億1千2百万円（6.5%）増加の398億1千6百万円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月7日に公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,198	4,782
受取手形及び売掛金	36,546	37,765
商品及び製品	5,838	6,138
仕掛品	761	744
原材料及び貯蔵品	4,328	4,868
その他	2,357	1,489
貸倒引当金	△364	△436
流動資産合計	54,667	55,353
固定資産		
有形固定資産	19,239	21,931
無形固定資産		
のれん	220	187
その他	926	965
無形固定資産合計	1,147	1,153
投資その他の資産		
投資有価証券	14,221	14,384
その他	2,847	2,247
貸倒引当金	△1,129	△697
投資その他の資産合計	15,940	15,935
固定資産合計	36,326	39,020
資産合計	90,994	94,373
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,295	22,616
短期借入金	6,488	8,943
1年内返済予定の長期借入金	6,682	4,173
未払費用	2,476	2,444
未払法人税等	885	369
賞与引当金	1,025	552
その他	3,155	2,218
流動負債合計	43,009	41,319
固定負債		
長期借入金	6,299	8,804
退職給付引当金	2,726	2,805
資産除去債務	69	70
その他	1,485	1,556
固定負債合計	10,581	13,237
負債合計	53,590	54,556

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年3月31日）	当第3四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,472	7,472
資本剰余金	5,868	5,672
利益剰余金	33,363	35,608
自己株式	△638	△639
株主資本合計	46,066	48,113
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	902	1,130
繰延ヘッジ損益	0	1
為替換算調整勘定	△10,316	△10,286
その他の包括利益累計額合計	△9,412	△9,154
少数株主持分	750	858
純資産合計	37,404	39,816
負債純資産合計	90,994	94,373

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)
売上高	90,340	92,217
売上原価	70,973	71,524
売上総利益	19,367	20,693
販売費及び一般管理費	16,043	16,197
営業利益	3,324	4,496
営業外収益		
受取利息	50	47
受取配当金	264	258
持分法による投資利益	659	679
その他	319	344
営業外収益合計	1,293	1,330
営業外費用		
支払利息	331	325
その他	168	132
営業外費用合計	499	457
経常利益	4,118	5,368
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6
特別利益合計	—	6
特別損失		
投資有価証券評価損	364	353
有形固定資産除却損	—	31
特別損失合計	364	385
税金等調整前四半期純利益	3,753	4,990
法人税、住民税及び事業税	1,216	1,450
法人税等調整額	318	313
法人税等合計	1,535	1,764
少数株主損益調整前四半期純利益	2,218	3,226
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△6	114
四半期純利益	2,224	3,111

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,218	3,226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,211	212
為替換算調整勘定	△1,119	△64
持分法適用会社に対する持分相当額	△520	85
その他の包括利益合計	△2,851	233
四半期包括利益	△633	3,460
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△591	3,369
少数株主に係る四半期包括利益	△41	90

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	印刷 インキ ・機材 (日本)	印刷 インキ (アジア)	印刷 インキ (北米)	印刷 インキ (欧州)	機能性 材料	計				
売上高										
外部顧客への売上高	44,701	11,468	18,647	4,379	4,798	83,995	6,344	90,340	—	90,340
セグメント間の内部 売上高又は振替高	27	133	1,251	136	52	1,600	3,311	4,912	△4,912	—
計	44,728	11,601	19,898	4,515	4,851	85,596	9,656	95,253	△4,912	90,340
セグメント利益又は 損失(△)	2,379	334	△296	205	232	2,854	369	3,224	100	3,324

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成品事業、ディスプレイサービス事業及び色彩関連機器事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額100百万円には、セグメント間取引消去237百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△137百万円が含まれております。全社費用は、主に関係会社に対する役務提供費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	印刷 インキ ・機材 (日本)	印刷 インキ (アジア)	印刷 インキ (北米)	印刷 インキ (欧州)	機能性 材料	計				
売上高										
外部顧客への売上高	44,697	13,736	19,472	4,293	4,248	86,449	5,768	92,217	—	92,217
セグメント間の内部 売上高又は振替高	29	67	1,354	61	72	1,584	3,385	4,970	△4,970	—
計	44,727	13,803	20,826	4,354	4,320	88,033	9,154	97,188	△4,970	92,217
セグメント利益	3,024	624	320	63	73	4,106	238	4,345	151	4,496

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成品事業、ディスプレイサービス事業及び色彩関連機器事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額151百万円には、セグメント間取引消去289百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△137百万円が含まれております。全社費用は、主に関係会社に対する役務提供費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。